

ごみ収集回数削減に対する陳情書

陳情事項

- ・ごみの収集回数は現状を維持してください。
- ・ごみの減量は必要不可欠であることに賛同しますが、収集回数の削減ではなく、まずは市民が分別や減量に取り組みやすい環境の整備を進めてください。
- ・ごみの収集回数を削減する場合には、現在保育園で持ち帰っている使用済みオムツを各園で廃棄できることを検討してください。

理由

- ・私たち共働き世帯は、特に夜間収集地域やごみ出しの時間が決まっている地区において、収集時間までに帰宅出来ず、ごみが出せない日もあり、とても負担が増します。
- ・昨年度実施された「ごみの減量及び資源化に向けた 市民意見交換会におけるアンケート」では子育て世代の回答はわずかであり、アンケート結果は市民の意見として公平に反映しているものではありません。
- ・船橋市が取り組むべきごみ減量対策は、収集回数の削減よりもリサイクルの徹底だと考えます。市が取り組むべき資源化活動はまだ徹底されているように思えません。まずは分別についての周知・啓発活動を積極的に行い、ごみの減量を図ってください。
- ・オムツの子が複数いる家庭があります。特に夏場、オムツ4日分を廃棄出来ない環境は不衛生であり、悪臭も発生します。オムツを各保育園で破棄できれば、収集回数が削減されたとしても負担軽減につながります。

以上